

2月25日(月)

御国の住まい

聖書朗読 ヘブル 11:5~13

信仰によって、彼は約束された地に外国人のようにして住み、同じ約束とともに相続するイサクやヤコブとともに天幕生活をしました。彼は、固い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都を設計し建設されたのは神です。

ヘブル 11:9-10

大学で教職課程を専攻している学生たちと共に、低所得者の方が多く住むエリアにある小学校で一学期間、色々な教育実習を行いました。実習の最後には、仮想の小さな町を小学生たちと一緒に作って社会の仕組みを学ぶ、という体験型の学習をしました。仮想の町には、スーパー、病院、不動産屋、服屋、そして娯楽施設を作りました。生徒は一人一人町での仕事が与えられ、給料を得て、その給料を好きなように使ってよいと設定しました。教育実習たちは、娯楽施設が一番繁盛するだろうと思っていました。しかし、その予想を裏切り、仮想の給料を得た小学生たちは一斉に不動産屋へと向かったのです。つまり、住む場所を子供たちはまず求めたのです。

この小学校の担任の先生から、この学校の生徒たちの多くは貧しく、定まった家の無い生徒たちもいる、と聞かされました。今晚どこで寝るのか分からない子たちも少なからずいたのです。住む場所を転々としたり、親戚の家に居候したり、生活困窮者のための収容施設に宿泊したり、自動車の車内で寝泊まりしている生徒さえいたのです。ですから、生徒たちはまず家が欲しかったのです。

この教育実習での体験は、私をハッとさせました。私のような、家を持ち、ある程度安定した生活を送ることが出来ている者にとっては、地上での快適な暮らしは当たり前前の生活のように感じています。しかし、アブラハムが(神に召されて)故郷を離れたように、私たちもこの地上を去る時が来ます。そして、神様が私たちのために用意して下さっている御国のすばらしい住まいに入れて頂くことが約束されているのです。

聖歌 638

祈り 私たちのために、御国のすばらしい住まいが用意されていることを感謝します。その住まいに入る時まで、この地上であなたに仕える者としての役割を全う出来ますようお導き下さい

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジョイス・ハーデイン
テキサス州オースティン

今日の方

2019年2月25日~3月3日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月26日(火)

放蕩息子の兄

聖書朗読 ルカ 15:25~32

しかし兄は父にこう言った。「ご覧なさい。長年の間、私はお父さんに仕え、戒めを破ったことは一度もありません。」
ルカ 15:29

放蕩息子の兄は、非の打ちどころの無いような人でした。彼は勤勉に家のために働きました。その働きぶりは、この家の息子というよりも使用人と言える程よく働きました。兄がこのように勤勉だったのは、父への敬意の現れでした。兄は父の財産を無駄遣いするようなことは一度もなく、また、父の顔に泥を塗るような非行に走ることも一切ありませんでした。兄はこの家に役立つと思うことを行い、父に忠実で、慎ましく、真面目でした。

それに対して弟の方は、父がまだ元気であるにもかかわらず、父に遺産を要求しました。しかも「出来るだけ多くの遺産を、今すぐくれ!」と言わんばかりの態度で要求したと思われます。そしてしばらくして、弟は財産を使い果たし、ボロボロの服を着て、今にも飢え死にしそうな有様で帰ってきました。この弟が間違った人生を歩んでいたことは誰の目にも明らかです。

しかし父は、そんな放蕩生活に明け暮れた弟が帰って来たことを喜び、彼に一番良い服を着せたり指輪をはめさせたりして、帰ってきたことを歓迎しました。この、父の弟に対する扱いは、(兄からすると)甘すぎで不公平のように感じられたかもしれません。

しかし、神の慈しみとは、公平・不公平という基準を超えて注がれる「恵み」なのです。神様は、本来受けることが出来ない恵みを私たちに注いで下さるのであり、それが神様の慈しみなのです。放蕩息子の父がしたことは、神様の慈しみを表わしているのですが、兄はそのことが理解できませんでした。それが兄の、唯一の(しかし重大な)欠点だったとも言えるのです。

讃美歌 529

祈り お父様、あなたが待っていて下さることを知っています。あなたの慈しみを感謝し、御名を賛美致します。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

スティーブン・レムリー
編集者

2月27日(水)

必要を満たして下さる神

聖書朗読 I列王記 17:1~9

あなたは私の歩みと私の伏すのを見守り、私の道をことごとく知っておられます。
詩編 139:3

最近のスマートフォンの中には、どこかに置き忘れた時のために「自分のスマートフォンを捜す」というアプリが入っているものがあります。先日私は自分のスマートフォンを紛失したのですが、私のスマートフォンにはそのようなアプリは入っておらず、しかも電源もオフでしたので、探し出すのが大変でした。実際、発見まで三日もかかりました。万一に備えて、便利なアプリを入れておくなどの工夫も必要だと感じました。

本日の聖書朗読箇所、エリヤは励まし必要としていました。彼は人生の危機的状況に置かれていたからです。と言うのも、エリヤはアハブ王に預言を伝えたのですが、その内容はアハブの怒りを買うような内容だったからです。その預言とは、アハブが偶像崇拝を止めなければ、王国には当分雨が降らないであろうという内容でした。

そんなエリヤを、神様は見出し、支えて下さいました。そして一人のやもめをお用いになって、一時的に隠れるための場所、水やパン、そして肉をお与えになりました。やもめを通して、神様はエリヤを守って下さいました。

神様がエリヤに対してして下さったのと同様に、神様は私たちを見出し、常に私たちの必要を全て満たして下さいます。また、他の人たちや私たち自身が気付いていない「本当に必要なもの」まで神様はご存知で、それを私たちに与えて下さいます。

私たちの普段の歩みにおいて、神様は私たちの祈りに応答して下さいます。そして私たちが本当に必要としているものを備えて下さっているのです。神様がどのように私たちの祈りに応答して下さいているか、積極的に考えてみませんか。聖書の御言葉を読んで、ハッとさせられ、励まされたことはありませんか。信仰者の歩みを見て、感動を覚えたことはありませんか。思いもよらず予定がキャンセルになって、静まって神様に心を向ける時間が与えられたことはありませんか。神様は様々な方法を通して、私たちに励ましと導きを与えて下さっているのです。

讃美歌 294

祈り 神様、今日も必要なものを備えて下さり、ありがとうございます。与えられた恵みに気付くことが出来るよう、お導き下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

スティーブン・レムリー
編集者

2月28日 (木)

輝く美しさ

聖書朗読 創世記 1:1~18

主よ。あなたは私のともしび。主は、私のやみを照らされます。

II サムエル 22:29

天然石の展示会でのことです。様々な色の小さな石が、展示台の上に並べられていました。部屋の照明が消され、特殊なライトで照らすと、石の内部のミネラルが光を反射して、とても綺麗な色を放っていました。

神様が世界を創造された時、最初は闇が世界を覆っていました。そして神様は「光があれ」と言われました。こうして、神様による美しい世界が造られていきました。神様は、世界を様々な色を用いて美しくなさる方だと言えるでしょう。野の草花、熱帯の魚たち、夕日・・・、これらは美しい色で私たちを感動させます。道ばたの石ころでさえ、光の加減では、とても美しい色を放つ場合があります。

私たちは時に、神が創造された自然の中で私たちが生かされていることが「当たり前のこと」のようになってしまい、私たちが生かされているという事実にあまり感動を覚えなないかもしれません。しかし、(石が光を反射させて美しく輝くように) 神様は私たちが神の光を映す器として、お用い下さいます。私たちが神様の御業に感動を持って感謝し、神様の光を映しながら歩むとき、私たちの人生は(霊的に)より豊かで、味わいのある人生へと変えられていくのです。

「主の威厳ある輝きを眺むる時 それぞれの面差しをもって
主の似姿が表される 常に栄光から栄光へと変えられ
ここに映し出されるは 我らの生き様を通して証する 主の福音と真理
(グラハム・ケンドリック)

讃美歌 533

祈り 天におられるお父様、いつも光を与えて下さり、ありがとうございます。
御心に従い、輝けるようお導き下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

キャロル・ロデス
コロラド州プエブロ

3月1日 (金)

良いお手本

聖書朗読 創世記 5:21~32

しかし、愛する人々よ。あなたがたは自分の持っている最も聖い信仰の上に自分自身を築き上げ、聖霊によって祈り、神の愛のうちに自分自身を保ち、永遠のいのちに至らせる、私たちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。

ユダ 20~21

エノクは神様と共に歩みましたが、その道は決して平坦で楽な道ではありませんでした。エノクが生きていた当時も、世の中は悪に満ちており、神様は洪水により裁かれる計画を立てておられました。そのような状況でも、エノクの信仰が揺らぐことはありませんでした。不信仰な人々が大多数の世にあっても揺らぐことのなかったエノクの信仰は、神を知らない人々に対して、まことの神様を信仰することの素晴らしさの証しとなったのではないのでしょうか。

エノクの信仰は、現代の世界を生きる私たちにとっても、良い模範となっています。現代の世界も、たくさんの悪で満ちています。聖書が指し示している真理を否定しようとする風潮もありますし、本当の希望や愛を知る人々もあまり多くはいません。しかし、このような霊的に問題の多い世界に生きている時こそ、エノクの信仰の歩みは、私たちにとって励みとなるのではないのでしょうか。神がエノクを大いに祝福して下さったように、神に忠実な者は皆、大いに祝福されるからです。

神は私の導き、私の助け、私の支え、
最も暗い夜を通して、
私が光の中で神と共に歩むなら、
神も最後まで私と共にいて下さいます
(ポール・エップ)

讃美歌 270

祈り 神様、エノクを良いお手本として、日々あなたと共に歩めるようお導き下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ウィリアム・マクドナルド
バタンバン (カンボジア)

3月2日(土)

御心

聖書朗読 創世記 6:5~22

それで主は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた。 創世記 6:6

私たちは、神様が大きいなるお方であることを知っています。しかし、そんな大きいなるお方の心が、私たちが原因で痛みを覚えることがあります。それは、私たちが神様の御心から外れた歩みをする時です。全能なる神様の心さえ、私たちの罪は傷つけてしまうのです。

愛に溢れる神様は、私たちが祝福される道を歩むことを切に望んでおられます。だからこそ、私たちが滅びへと向かう道を歩んでしまう際、「心を痛められ」るのです。

しかしその一方、私たちが神様に全てを委ね、お従いする時、神様の大きいなる力が現されます。パウロは次のように書いています。「実にキリストは、私たちがまだ弱かったころ、定められた時に、不敬虔な者たちのために死んで下さいました」(ローマ5:6)。このみことばは、私たちの心を揺さぶります。私たちの心が揺さぶられた時こそ、私たちが神様との本来の关系到立ち返るきっかけが与えられるのです。そして、私たちが神に立ち返る時、神は喜んで下さるのです。

私たちが何らかの誘惑にさらされた時、次のことを思い起こしてみましよう。私たちは神様の心を傷つけることも出来得る一方、神様をに喜んで頂けるような道を歩むことも出来る、と言うことを。神様に喜んで頂けるような歩みを、皆で共にしませんか。

讃美歌 517

祈り 神様、あなたを悲しませるのではなく、あなたに喜ばれるような歩みを少しでもすることが出来ますよう、私の頑なな心を砕いて下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ダン・バteman
テネシー州フェアビュー

3月3日(日)

エンジェル

聖書朗読 創世記 18:1~8

あなたの手に善を行う力があるとき、求める者に、それを拒むな。 箴言3:27

窓の外に目を向けたら、若い母親が4人の子供と共に、私たちの庭にいるのが目に入りました。彼女の車が動かなくなってしまったのです。主人がガソリンを入れ、エンジンをかけようとしたのですが、動きませんでした。それはちょうどお昼時で、外は暑く、1歳の子はずっと泣いていました。車は動かないし、子供もそんな状態でしたので、母親はとても困っていました。彼女は私の電話を借り、彼女の祖母へ連絡しました。私の車で送っていった方が良いかと思いました。

私が彼女を送る間、少しお互いのことについて話をしました。「どこか教会へ通っているの」とその母親に訊いたところ、涙を拭きながら「いいえ。でも今、試練の中にいて、教会へ行くべきだと思っていたところでした」と答えました。私は彼女に、教会の案内のチラシを渡し、礼拝に誘いました。

彼女の祖母の家は、私の家から遠くはありませんでした。送っていくことは難しいことではありませんでした。誰か助けを必要としている人を助けられた時の達成感の良いものです。その日私は、この聖句を思い出しました。「旅人をもてなすことを忘れてはいけません。そうすることで、ある人たちは、知らずに御使いたちをもてなしました」(ヘブル13:2)。私が彼女に名前を訊いた時、彼女は「エンジェルです」と言っていたことを思いだし、私は思わず微笑みました。(訳注:「御使い」は英語では「エンジェル」ですが、「エンジェル」は女性の名前としても使われることもあります。)

讃美歌 II編26

祈り 天におられるお父様、助けが必要な人に気が付くことが出来ますようお導き下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

キャロル・ホデス
コロラド州プエブロ